

絆 通信 春

vol.11 2023.3

県政報告

KIZUNA

三重県議会議員 **木津直樹**
伊賀市選出 会派 自由民主党

令和5年度 実行予算 三重の未来を切り開く

ふるさと伊賀に明るい希望を!

三重県議会3月定例会では、過去最大規模の8371.4億円（前年比2.2% / 177.1億円増）の令和5年度予算案を審議しています。最重点は『みえ子どもまるごと支援

パッケージ』で、結婚、妊婦・出産、子育てを切れ目なく支援するほか、引き続き防災対策、観光振興などにも重点をおきます。新年度予算の概要をお知らせします。

未来を担う子どもたちを守り育てる

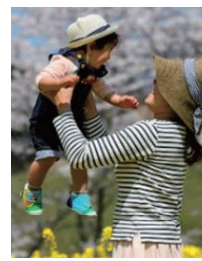
市町の妊娠・出産・子育て支援事業を支援

- みえ子ども・子育て応援総合補助金 **304,036千円**
◎新規事業 県独自の補助制度として、各市町が、妊娠・出産・子育て等のライフステージごとに切れ目のない取組を実施するため、新たに取組む子ども・子育て家庭を支援する事業等の経費を柔軟に支援します。
- 子育て家庭支援基盤整備事業 **178,569千円**
◎新規事業 妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的相談を行う拠点の整備や支援員の配置のほか、家事・育児等に対して不安や負担を抱える家庭への訪問支援など、市町が実施する取組に必要な経費を支援します。

子ども医療費助成に対する支援

- 子ども医療費補助金 **2,229,334千円**
子どもが必要な医療を安心して受けられるよう、市町が実施する医療費助成事業に要する経費を支援します。
◎新規事業 未就学児の現物給付にかかる所得制限（児童扶養手当基準）を廃止することで、市町の負担を軽減し、市町の子育て支援策充実を促進します。

市町の子育て支援に対し、新たに約6億円を補助



活動報告



県議会定例会で一般質問に立ち、がん対策とがん患者への支援を要望する



1月6日、伊賀市文化会館さまざまホールで消防出初式に出席
1月22日、内保の西音寺で文化財防火訓練に参加



1月23日、伊賀産肉牛生産振興協議会60周年記念式典に「見勝之三重県知事」として出席

地元要望に応じて

- ①下友生地区=ゆめが丘北口交差点の感知式信号機の不具合を地域の方と伊賀警察署立ち会いのもとに確認（昨年12月22日）→信号機を更新（2月18日）
- ②水利組合=長田井堰
- ③新居地区=県道183号拡幅工事が進行中
- ④島ヶ原地区=県道観音寺線と併せて木津川護岸工事が完成間近

「水利不具合対策」



1月11日、伊賀市商工会新春賀詞交歓会で挨拶



1月13日、大山田阿波地区で「空飛ぶ物流、ドローンの実証実験」を視察



1月19日、上野恵比寿神社初めびす参拝



木津直樹の一般質問

三重県議会定例会（令和2年～4年）

令和2年定例会（3月2日）

- 1 農業政策（①中山間地域農業の振興②野生いのしし対策）
- 2 教育政策（①成年年齢引下げを見据えた消費者教育②伊賀白鳳高校建築デザイン科の学習環境の整備）
- 3 大阪・関西万博に向けた関西圏営業戦略の取組
- 4 携帯電話の不 통화地域の解消
- 5 伊賀地域医療構想



令和3年定例会（2月26日）

- 1 三重県産米の需給緩和対策
- 2 豚熱への対応（①養豚農家への支援②野生いのしし対策）
- 3 循環型社会の構築に向けた産業廃棄物税制の見直し
- 4 三重とこわか国体・三重とこわか大会における新型コロナウイルス感染症防止対策
- 5 伊賀のインフラ整備（①国道368号の早期4車線化（大内拡幅工区）②名神名阪連絡道路整備促進の展望）



令和4年定例会（3月9日）

- 1 災害時に於ける自衛隊・海上保安庁との連携
- 2 がん対策の充実（①がん検診の受診率向上②がん患者の支援）
- 3 水田農業の振興（①三重県産米の需給緩和対策②三重県産米の販売促進）
- 4 過疎地域の追加指定
- 5 名神名阪連絡道路の展望



令和4年定例会（12月5日）

- 1 三重の戦略的な営業活動について（①2025年大阪・関西万博に向けた取組②首都圏営業拠点「三重テラス」）
- 2 空き家対策の推進
- 3 地域公共交通の活性化と再生
- 4 建設業の担い手確保と育成
- 5 川上ダムを活かした地域振興
- 6 伊賀のインフラ整備



県民のいのちを守る

河川・砂防

●堆積土砂対策事業 4,275,700千円

河川や砂防えん堤の堆積土砂撤去・樹木の伐採を、関係市町と優先度を検討しながら、連携して実施します。(対前年度比1.2倍の予算を確保)



河川の堆積土砂撤去

道路

●直轄道路事業 12,301,918千円

1月補正を含む額 14,578,085千円

地方創生、国土強靱化に資する幹線道路ネットワーク構築・機能強化を促進します。

●緊急輸送道路等機能確保事業

7,230,529千円

1月補正を含む額 9,345,783千円

緊急輸送道路の土砂災害対策や橋梁耐震対策等を実施します。

●道路改築事業 8,972,937千円

1月補正を含む額 10,457,926千円

高規格道路や直轄国道の整備効果を最大限に生かす道路ネットワークの形成や地域ニーズへの的確な対応に向けて、着実な道路整備

賑わいのある観光を取り戻す

発信力の強化と観光需要の喚起

●大阪・関西万博を契機とした関西圏プロモーション強化事業 98,120千円

◎新規事業 2025年開催の大阪・関西万博への出展に向けて基本計画に基づいた設計を実施します。

◎新規事業 三重の認知度向上や観光誘

を実施します。

地域社会を支える生活道路で車両のすれ違いが困難な未改良区間を解消します。



すれ違い困難区域の解消

●インフラメンテナンス(道路)事業

1,922,632千円

1月補正を含む額 3,504,865千円

老朽化が進行する橋梁、トンネルなどの道路施設について、予防保全の考え方も取り入れながら、計画的な点検や効果的な修繕を推進します。

がん対策

●がん患者支援事業 47,195千円

多職種ネットワーク体制づくり、緩和ケア提供体制の充実を支援します。

◎新規事業 がん治療に伴い外見に変化が生じた患者の社会参画を後押しするため、がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業補助金(仮称)が制度化されます。(アピアランスケア)



客、県産品の販路拡大につなげるため、大阪市内に期間限定の情報発信拠点を設置し、消費者動向等を調査します。



三重県ブース(仮称)のイメージ

誰もが暮らしやすい社会をつくる

交通安全

●交通安全対策事業 1,640,765千円

1月補正を含む額 1,868,115千円

通学路の合同点検結果等に基づき関係者と連携しながら、交通安全対策についてスピード感をもって対応します。



歩道整備

●交通安全施設整備事業 1,773,892千円

1月補正を含む額 1,827,062千円

摩耗した横断歩道、老朽化した信号制御機、その他の交通安全施設等を更新・整備します。

子どもの通学をより安全にするため、通学路等に歩行者用信号灯を増灯します。



横断歩道の塗替

時代の変化に対応し三重の産業を振興する

県産農林水産物の売り込み

●県産ブランド和牛の輸出サプライチェーン構築支援事業 8,440千円

◎新規事業 輸出先の候補国で開催される食品見本市や展示会への出展を通じ、県産ブランド和牛の海外におけるサプライチェーンの構築を推進します。

中小企業・小規模企業の経営改善への支援

●中小企業金融対策事業 5,048,726千円

中小企業・小規模企業の資金調達の円滑化を図るため、地域金融機関の協力を得て三重県中小企業融資制度を運用します。事業者負担を軽減するための保証料補助と

公共交通の維持・確保

●鉄道活性化促進事業 5,628千円

関西本線(亀山~加茂)の維持・活性化のため、「関西本線活性化利用促進三重県会議」において、沿線市やJR西日本と連携し、地域住民への課題の共有や利用促進に向けた実証事業などを実施します。

交通空白地における移動手段の確保

●交通空白地移動手段確保事業 29,500千円

◎新規事業 次世代モビリティ等を活用した取組や福祉分野等との連携による取組など、市町や事業者の地域で実施する移動手段確保のための取組を支援します。

◎新規事業 地域の公共交通の現状・課題、利用者の移動特性等をふまえて、今後の取組の方向性を示す「三重県地域公共交通計画(仮称)」を策定します。

◎新規事業 観光地の夜間の二次交通について調査を実施します。

金融機関への利子補給補助を実施します。

コロナ禍の長期化や原油等原材料価格高騰の影響を受けた企業が、経営の安定に支障をきたすことがないよう、手厚い資金繰り支援を継続します。

セーフティネット資金・リフレッシュ資金、計600億円の融資枠を確保

生産体制・生産基盤の整備

●飼料の自給体制構築事業 6,067千円

◎新規事業 飼料の自給体制の構築を図るため、飼料用トウモロコシの生産や食品製造過程で発生する米ぬか・小麦ふすま・おからなどを原料とする飼料の利用を図る取組を推進します。